

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

白神山地巡視日誌

【巡視箇所】 水沢山ブナの森公園（八峰町）→粕毛川源流部（藤里町）往復

【巡視日】 令和元年10月29日（火）

【巡視者】 小林あずみ、有本実

10月の最終週、粕毛川源流部（世界遺産核心地域）の巡視を行いました。白神山地秋田県側の核心地域に入るのは今回が初めて。今年4月赴任以来、雨や会議で訪れる機会が延び延びになっていたため、今回の巡視は大変楽しみにしていました。



ブナの森公園を出発してしばらくは杉林の急登がつづきます…



峠に到着！！
ここから先が世界遺産地域です

白神山地は紅葉の最盛期でした。ブナ林の中は、一面ブナの葉のオレンジ色！！去年の同じ時期におこなった巡視では紅葉はもう終盤だったらしいのですが、今年の紅葉は例年と比べて2週間程度遅いみたいです。でも、よく見ると紅葉の進み具合も、まだまだ葉が緑色のものから全て葉を落としてしまったものまで混在しています。寒くなったり暖かくなったり、今年の迷走した秋の気温の変化に木々達も困惑したのかもしれない。

樹種によっても紅葉の色は様々で、ブナのオレンジ、クロモジの黄色、…いつもなら赤く色づくオオカメノキは、今年は葉が黄色いままもうほとんど葉を落としてしまったみたいです。春の山菜コシアブラも秋は綺麗な薄いレモン色に。錦模様を引き立てています。

今回は6月に引き続き『白神山地世界遺産地域における原生的ブナ林の長期変動調査』の監督を兼ねた巡視となります。過去の巡視日誌にもちよくちよく登場するこの『ブナ林の長期変動調査』ですが、長期間にわたって多角度から森を監視することで、一回の調査ではわかりにくい生態系の動向や気象変動の影響などを、委託した専門の調査会社の方々が調べてくれています。(調査の一部を紹介します！)

林内気温調査

林内気温の変化を調査します。鳥の巣箱のような箱の中に温度計が入ってます。

雪の深さは2~3m位。埋もれないよう、高い位置に設置します。

入り込み利用調査

赤外線センサーカメラを設置し、入り込んだ人の数を数え影響を調べます。

最深積雪深調査

雪が溶けるときに針金が引っ張られて曲がったところが雪の積もった深さです。

針金をまっすぐに伸ばして雪に備えます。

遺産地域内は伐倒禁止。邪魔なササや灌木も紐で止めます。

お昼には、世界遺産核心地域である粕毛川源流部三蓋沢入口付近に到着。鮮やかな落ち葉の下に、イワナがたくさん泳いでいました。

オオカメノキの冬芽 v🐱v

今年芽吹いたブナも黄葉

紅葉は木々達の冬支度。もう、すぐそこまで厳しい冬がやってきています。(小林)